

平成31年度 横浜市白根地域ケアプラザPDCAシート_公表用

(事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

土地開発により同時期に入居された住宅の多い担当地域。核家族が多く、それら世帯が等しく高齢化しているため、地域での独居高齢者・高齢者世帯に対する取り組みや交流は行われている。また子育て世代への取り組みや交流も行われているが、地域住民と子育て世代との交流はなかなか行われていない現状があるので、地域の状況を把握し、多世代が利用・交流が出来る事を提案サポートしていきたい。

新規
継続

—具体的な取組内容—

障がい施設、介護保険施設の避難訓練に地域の方々と参加し協働しつつ地域での障がいの理解を広く深めていく為、地区社協と共催の研修等を企画し、地域の防災訓練当日には不動丸小学校防災拠点に白根地域ケアプラザブースを設置する。

白根地区支え合い連絡会を6月より、2か月に1回開催。

地区社協との共催で、連合主体として、白根地区住民アンケートの実施を行う。

多世代食堂の実現を地区社協と連携し、実現していく。特に、地域と子どもとの繋がりを図っていく。

子育てに関してわかりやすく簡単に情報収集ができるようなコーナーを設置する。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

区からのコメント

平成31年度横浜市白根地域ケアプラザ事業計画書・事業報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	福祉サービスの利用時事業所選択の際、複数のパンフレットをご利用者に提示していく。ケアマネジャー選択に際しては、旭区から提供される居宅介護支援事業者空き情報を提示し、本人家族の希望に沿った選択が出来る様助言していく。	月に一度職員全員が参加する会議の時に地域で起きている事件の周知を行うとともに、事故防止・個人情報の保護研修を年1度以上実施していく。
実績		

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業										
目標	住み慣れた地域で要介護状態に至らず暮らし続けられるよう介護予防事業の計画を作成します	住み慣れた地域で、安心して日常生活を営めるように、ご利用者の意向に沿った適切なケアプランを作成します。										
職員体制	主任ケアマネジャー(管理者兼務)、保健師、社会福祉士	介護支援専門員:常勤4名(専従3名 管理者兼務1名)										
利用者実績(人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

3 通所系サービス事業

	通所介護 認知症対応型通所介護	第1号通所事業 介護予防認知症対応型通所介護										
目標												
実施体制	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】										
実費負担												
職員体制												
利用者実績(人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

平成31年度「横浜市白根地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	
指定管理料	15,787,394		15,787,394		15,787,394	横浜市より
利用料金収入					0	基本的に、この行は入力しません
指定管理料充当 事業	0		0		0	
自主事業収入					0	基本的に、この行は入力しません
雑入	0		0	0	0	
印刷代	0		0		0	
自動販売機手数料					0	基本的に、この行は入力しません
駐車場利用料金収入					0	基本的に、この行は入力しません
その他（指定管理充当天分）	0		0		0	
その他（施設使用料相当額 法人負担分）	0		0		0	
その他（提案時控除 法人負担分）	169,502		169,502		169,502	
収入合計	15,956,896	0	15,956,896	0	15,956,896	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	10,681,213	0	10,681,213	0	10,681,213	
本俸	8,227,513		8,227,513	0	8,227,513	
社会保険料	945,000		945,000	0	945,000	
手当計	1,415,000		1,415,000	0	1,415,000	
健康診断費	3,700		3,700	0	3,700	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	90,000		90,000	0	90,000	
その他	0		0	0	0	
事務費	1,590,435	0	1,590,435	0	1,590,435	
旅費	32,000		32,000	0	32,000	
消耗品費	196,935		196,935	0	196,935	
会議費	0		0	0	0	
印刷製本費	0		0	0	0	
通信費	650,000		650,000	0	650,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	0		0	0	0	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	16,000		16,000	0	16,000	
職員等研修費	0		0	0	0	
振込手数料	500		500	0	500	
リース料	45,000		45,000	0	45,000	
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	650,000		650,000	0	650,000	
事業費	658,962	0	658,962	0	658,962	
運営協議会経費	42,000		42,000	0	42,000	予算・指定額
指定管理料充当 事業	616,962		616,962	0	616,962	
管理費	2,171,789	0	2,171,789	0	2,171,789	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	
光熱水費	832,293	0	832,293	0	832,293	
電気料金	727,387		727,387	0	727,387	
ガス料金	15,696		15,696	0	15,696	
水道料金	89,210		89,210	0	89,210	
清掃費	444,895		444,895	0	444,895	
修繕費	474,000		474,000	0	474,000	予算・指定額
機械警備費	92,999		92,999	0	92,999	
設備保全費	175,665	0	175,665	0	175,665	
空調衛生設備保守	123,999		123,999	0	123,999	
消防設備保守	51,666		51,666	0	51,666	
電気設備保守	0		0	0	0	
害虫駆除清掃保守	0		0	0	0	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	0		0	0	0	
共益費	0		0	0	0	
その他	151,937		151,937	0	151,937	駐車場警備員派遣他
公租公課	854,497	0	854,497	0	854,497	
事業所税					0	基本的に、この行は入力しません
消費税	854,497		854,497	0	854,497	
印紙税					0	基本的に、この行は入力しません
その他（ ）					0	基本的に、この行は入力しません
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	0	0	0	0	0	基本的に、この行は入力しません
本部分					0	基本的に、この行は入力しません
当該施設分					0	基本的に、この行は入力しません
二一ス対応費					0	基本的に、この行は入力しません
支出合計	15,956,896	0	15,956,896	0	15,956,896	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費収入	400,000		400,000	0	400,000	自主事業への参加料等
自主事業費支出	400,000		400,000	0	400,000	自主事業経費
自主事業収支	0	0	0	0	0	

管理許可・目的外使用許可収入	0		0		0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0		0	使用料（横浜市への支払等）
管理許可・目的外使用許可収支	0		0		0	

**平成31年度「横浜市白根地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（特別会計）＜包括・介護予防・生活支援＞**

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料（包括）	22,456,815		22,456,815		22,456,815	横浜市より
指定管理料（介護予防）	152,400		152,400		152,400	横浜市より
指定管理料（生活支援）	5,792,000		5,792,000		5,792,000	横浜市より
利用料金収入			0		0	基本的に、この行は入力しません
指定管理料充当事業（包括）	0		0		0	
指定管理料充当事業（介護予防）	0		0		0	
指定管理料充当事業（生活支援）	0		0		0	
自主事業収入			0		0	基本的に、この行は入力しません
雑入	0	0	0		0	
印刷代	0		0		0	
自動販売機手数料	0		0		0	基本的に、この行は入力しません
駐車場利用料金収入	0		0		0	基本的に、この行は入力しません
その他（指定管理充当分）	0		0		0	
その他（提案時控除 法人負担分）	0		0		0	
収入合計	28,401,215	0	28,401,215	0	28,401,215	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	25,912,277	0	25,912,277	0	25,912,277	
本俸	15,027,777		15,027,777		15,027,777	
社会保険料	3,400,000		3,400,000		3,400,000	
手当計	7,000,000		7,000,000		7,000,000	
健康診断費	10,000		10,000		10,000	
勤労者福祉共済掛金			0		0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	430,000		430,000		430,000	
その他	44,500		44,500		44,500	
事務費	701,436	0	701,436	0	701,436	
旅費	30,000		30,000		30,000	
消耗品費	126,436		126,436		126,436	
会議随費			0		0	
印刷製本費			0		0	
通信費	240,000		240,000		240,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0		0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費			0		0	
図書購入費			0		0	
施設賠償責任保険	4,500		4,500		4,500	
職員等研修費			0		0	
振込手数料	500		500		500	
リース料	10,000		10,000		10,000	
手数料			0		0	
地域協力費			0		0	
その他	290,000		290,000		290,000	
事業費	1,210,194	0	1,210,194	0	1,210,194	
協力医	630,000		630,000		630,000	予算：指定額
指定管理料充当 事業（包括）	115,794		115,794		115,794	
指定管理料充当 事業（介護予防）	152,400		152,400		152,400	
指定管理料充当 事業（生活支援）	312,000		312,000		312,000	予算：指定額
管理費	577,308	0	577,308	0	577,308	
建築物・建築設備点検	0		0		0	予算：指定額
光熱水費	159,225	0	159,225	0	159,225	
電気料金	140,305		140,305	0	140,305	
ガス料金	3,002		3,002	0	3,002	
水道料金	15,918		15,918	0	15,918	
清掃費	115,365		115,365		115,365	
修繕費	126,000		126,000		126,000	予算：指定額
機械警備費	24,721		24,721		24,721	
設備保全費	46,695	0	46,695	0	46,695	
空調衛生設備保守	32,961		32,961		32,961	
消防設備保守	13,734		13,734		13,734	
電気設備保守	0		0		0	
害虫駆除清掃保守	0		0		0	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	0		0		0	
共益費	0		0		0	
その他	105,302		105,302		105,302	駐車場警備員派遣他
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税			0		0	
その他（ ）			0		0	基本的に、この行は入力しません。
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	0	0	0	0	0	
本部分			0		0	
当該施設分			0		0	
二一ス対応費			0		0	
支出合計	28,401,215	0	28,401,215	0	28,401,215	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費収入	0		0		0	自主事業への参加料等
自主事業費支出	0		0		0	自主事業経費
自主事業収支	0		0		0	

管理許可・目的外使用許可収入			0		0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出			0		0	使用料（横浜市への支払等）
管理許可・目的外使用許可収支	0	0	0	0	0	

横浜市白根地域ケアプラザ

平成31年度 自主事業計画書・報告書

事業	1 地域活動交流事業	5 共催(1と3)
	2 地域包括支援センター運営事業	6 共催(2と3)
	3 生活支援体制整備事業	7 3事業共催(1と2と3)
	4 共催(1と2)	
事業の性質	1 優先的に取り組みが求められる事業	

対象者	1 高齢者	5 地域
	2 障害児・者	6 事業者
	3 養育者及び乳幼児	7 その他
	4 子ども・青少年	

番号	事業名	開始年度	事業	主な対象者	従たる対象者	事業の性質	事業目的	事業内容・実施時期	実施回数	延べ参加人数
1	のんびりゆったり体操	平成31年度	3 制 整 生 活 支 援 体	1 高 齢 者	5 . 7	2 ね 発 展 さ せ る	ユーコープ白根で継続してきた体操教室の自主化を考え設置しやすい場所に移動、講師を2人から1人へ変更。体操の習慣性をとだえさせない為にもこのまま、参加者同士で継続していきけるよう3ヶ月支援し、自主化して頂く	・高齢者の健康維持のためのストレッチ、軽い筋力運動をほぼ座位で行う体操。 ・会場 三菱白根第二町内会館 ・4月から毎月第1金曜日13:30～15:00 ・7月から自主化予定。		
2	白根ケアプラザ大学	平成31年度	2 包 括	1 高 齢 者	1	1 り 優 組 先 的 に 取	地域住民に対し、8回コースで体力づくり・認知症予防・口腔ケア・栄養改善についてそれぞれ学ぶ機会を設け、介護予防に努めることを目的とする。(介護予防・認知症予防の普及啓発)	口腔、認知症、栄養、ロコモティブシンドローム(8回コース) 5/15入学式・ハマトレ 6/19美姿勢 ウォーキング 7/17栄養アップ 8/21美姿勢 ウォーキング 10/16お口の健康 11/20お口の健康2 12/18栄養アップ 1/22卒業式		
3	スクエアステップ体験会	平成31年度	2 包 括	1 高 齢 者	1 . 5	1 り 優 組 先 的 に 取	区主催で行われたスクエアステップリーダー講座の受講生を中心に各エリアにてスクエアステップ体験会を開き、1つの体操教室として元気づくりセッションの立ち上げを目指す。	上白根地域ケアプラザと共催で4か所で行い、スクエアステップの体験会の開催。 5/29 白根地域ケアプラザ 6/4 ユーコープ白根店 6/25 福寿荘 7/24 上白根地域ケアプラザ		
4	理学療法士による男の体づくり	平成29年度	2 包 括	1 高 齢 者	1 . 5	1 り 優 組 先 的 に 取	男性がケアプラザを利用しやすい環境として男性限定の少人数の講座を開催。必要な運動、体操を学び筋力の維持、転倒予防へ繋げることができ、加えて地域との新たな関わりを持つことが出来る足掛かりを図る。	理学療法士に座学、個々へアセスメントを行って頂き、よりその人にあった筋力の維持のアドバイスを受け効果的な運動ができるよう計画する。 1月中旬		
5	脳神経外科医が語る生と死	平成31年度	2 包 括	5 地 域	1 . 5	1 り 優 組 先 的 に 取	旭中央総合病院との共催で、脳神経外科医の先生を招き公開講座を開催。「脳卒中」「脳死」「延命」等の話を中心に、地域の方に正しい医療知識を提供し健康管理に役立ててもらおうと共に、リビングウィルの啓発を目的とする。	旭中央総合病院脳神経外科医による公開講座 6/5 白根地域ケアプラザ		
6	癒介市場～ゆかいマルシェ～	平成30年度	2 包 括	5 地 域	5	1 り 優 組 先 的 に 取	介護されている方、介護するであろう方、または介護に興味がある方が、気軽に語り合える場の提供。介護のストレスや、介護の工夫、介護のヒントを語り合い、情報共有、情報収集を行いながら、お互いの疲れを癒しあい、リフレッシュして今後の介護に対応する活力を得ていただく。	お茶を飲みながら、リラックスした雰囲気の中で語り合っていたく、 会の中から、要望が出てきた見学や講和に関して、企画していく。 7/18、9/19、11/21、3/12		
7	介護保険制度説明会		2 包 括	1 高 齢 者	1 . 5	1 り 優 組 先 的 に 取	介護保険制度の周知。上手に活用することで、介護予防、重度化防止になることを普及啓発していく。	制度説明会だけでは、なかなか興味をひけない為、ケアプラザから出向いて、ミニ講座を行う。 身近な会館等の地域の方が足を運びやすい場を活用させていただき制度利用や効果について普及啓発していく。		
8	後見制度説明会		2 包 括	1 高 齢 者	1 . 5	1 り 優 組 先 的 に 取	成年後見の普及啓発。後見制度を活用することで、判断能力が十分でない方の自己決定権を尊重し、残存能力を活用した地域生活を送っていたく。	行政書士、司法書士等に説明会を行っていただく。敬遠されがちな内容であるため、気軽に質問、相談しやすい環境づくりを行い、制度の普及啓発をしていく。 12/7 白根地域ケアプラザ		
9	認知症サポーター養成講座		2 包 括	1 高 齢 者	5	1 り 優 組 先 的 に 取	認知症サポーター養成講座を出張講座として開催し、認知症の正しい理解と対応方法について学んで頂く。	ケアプラザでの講座に加え、身近な会館等の地域の方が足を運びやすい場所に出向いて出張講座を行い、地域の担い手を増やす。 7月 ガーデンテラス白根台 9/23 白根地域ケアプラザ		
10	行政書士、司法書士による相談会		2 包 括	1 高 齢 者	1 . 5	1 り 優 組 先 的 に 取	地域住民の方へ、専門的、個性に対応した財産管理、後見制度の普及啓発を行う。また、相続や遺言を通じ相談窓口としての理解を普及する。	行政書士による無料個別相談会 5/18、11/16 司法書士による無料個別相談会 10/19、2/15		

番号	事業名	開始年度	事業	主な対象者	従たる対象者	事業の性質	事業目的	事業内容・実施時期	実施回数	延べ参加人数
11	ケアマネジャーの連絡会	平成31年度	2 包括	7 その他	7	1 り優 組先 みに 取	ケアマネジャーが、医療連携しやすいよう、医療関係者との顔の見える関係づくりを行う。	担当圏域内の医師とケアマネジャーとの意見交換会 医師からケアマネジャーへ求めること/疑問点の提示 ケアマネジャーから医師へ確認したいこと/連絡方法などについて意見交換を行う		
12	興和台体力測定	平成29年度	6 (3 共催 (2 と	1 高齢者	1 5	2 ね 展 い さ せ る	体力測定を行う事で、自己の身体の状態を見直すことが出来る。また、通年で行う事により体の変化や維持が出来るかを知ることが出来、健康への意識を高める。加え、新しい交流につながることを目標とする。	興和老人会を中心に興和第三回体力測定を行う。 血圧、身長、2ステップ値、体組成計、長座位体前屈、握力を測定し記録用に得点化。		
13	猪子山体力測定	平成30年度	6 (3 共催 (2 と	1 高齢者	1 5	2 ね 展 い さ せ る	体力測定を行う事で、自己の身体の状態を見直すことが出来る。また、通年で行う事により体の変化や維持が出来るかを知ることが出来、健康への意識を高める。加え、新しい交流につながることを目標とする。	猪子山老人会を中心に猪子山第2回体力測定を行う。 血圧、身長、2ステップ値、体組成計、長座位体前屈、握力を測定し記録用に得点化。		
14	おやこたいそう	平成26年度	1 地域 交流	4 子ども	7	1 り優 組先 みに 取	親子一緒に運動を楽しむことで、運動機能の向上を図る。親子間のスキンシップ、コミュニケーションを深める。	親子の運動で互いの基礎体力を刺激し合う。ボール、障害物遊びを通して、子どもの発達成長に必要な動きの基礎を身に付ける。 器械体操の動きの準備になる様な遊びをする。(全5回/第2木曜日)10:30~ 11:30		
15	お習字クラブ	平成30年度	1 地域 交流	4 子ども		1 り優 組先 みに 取	地域の子育て支援と習字を通して日本古来の伝統である毛筆文化を継承すると同時に、小・中学生を持つ家庭にケアプラザを周知するきっかけとする。 保護者や子供達のニーズに合わせ、目的意識をもって意欲的に取り組める場を提供する。	習字初めての幼児から学校の書写授業をしている小・中学生が書道に親しみ、基本の筆使いや字形の整え方などを学んでいくとともに、希望者には級の認定も行うことで励みとなり、意欲的に取り組めるような内容とする。		
16	にこにこサロン	平成27年度	1 地域 交流	7 その他	3	1 り優 組先 みに 取	子育て支援として親子また参加者同士の交流の場の提供。 参加者やボランティアさんから、担い手を探し、ゆくゆくは地域主導の自立化を目指す。	読み聞かせ、ミニイベント等を開催し参加者間、ボランティアとの交流を行う。		
17	ママヨガ	平成30年度	1 地域 交流	7 その他	3	1 取 り優 組先 みに	お母さんの産後ケアと赤ちゃんとのふれあい。講座を通じてママ同士の交流を作り、仲間づくりのきっかけとしてもらう。	10:00~10:45 ヨガレッスン 10:45~11:15 交流タイム。(お茶とお菓子を用意)1 クール3か月毎の申込み 5月31日、6月7,28日、7月5,26日(5回) 9月6,27日、10月4,25日(4回) 11月1,29日、12月6日(3回) 1月24日、2月7,28日、3月6日(4回) 計16回/年		
18	親子でエンジョイ・リトミック	平成29年度	1 交流 地域	3 児乳幼	7	1 的 組 に み 取 優 先	音楽に合わせて体を動かすことで、身体と心の成長を促すと共に、親子、地域のコミュニケーションを築く。 3期目にはいり、今年度後期より(9月)自主サークル化を目指す。	講師を依頼。ピアノに合わせて、楽器(カスタネット等)を使って歌ったり踊ったりすることで、リズム感を養う。		
19	まめっこクラブ	平成28年度	1 交流 地域	4 も子ど		1 的 組 に み 取 優 先	都市化・少子化による生活様式の変化で、遊び場・遊び仲間、遊び時間が減少していることも達し、身体を使って遊ぶことの楽しさとコミュニケーションの取り方を知ってもらう。	ボール・ラダー等の用具を使いながら全身運動を行い、体力・運動機能の向上を計る。簡単なゲームを取り入れルールやコミュニケーションの取り方を学ぶ。また、全身運動を行う事で、状況判断や創造性促進の手助けをする。		
20	おやこのたまりば	平成30年度	1 交流 地域	7 他そ	7	1 的 組 に み 取 優 先	昨年度地域のママ達からの要望があって始め、好評により継続。地域の親子の交流の場所作り、また暑い時期寒い時期の遊び場所として空き部屋を開放し、自由に交流してもらう。同時にケアプラザを周知する。	空き部屋を開放して、自由に交流してもらう。安全を確保するために部屋の使用ルールを周知させ、保護者に理解と協力をしてもらう。		
21	白根夜メロ倶楽部	平成28年度	1 交流 地域	1 者高 齢		1 さ せ ら い る 発 展	4年目に入る講座となり、最近評判を聞きつけ近隣地域の高齢者の方の関心も多くなり、男性の生きがい作り、居場所になるようもう一年をかけて自立化につなげる。	講師のコーディネートに合わせて男性が親しんできたロシア民謡やフォークソングや合唱などを選曲したこだわりの歌声サロンとする。		
22	和布あそび	平成29年度	1 交流 地域	5 地 域	1	1 さ せ ら い る 発 展	手や指を使う手芸を通して楽しみながら脳を刺激し健康を維持、介護予防に繋げる。	参加者の希望も聞きながら、講師に材料を用意して頂き進める。		
23	レインボーブリッジを歩こう!	平成27年度	1 交流 地域	5 地 域	1	1 的 組 に み 取 優 先	高齢者のひきこもり防止に外に出る機会をつくり、ウォーキングを通して健康作りと仲間作りの場を提供する。個人では選定し難いコースも、ガイドをつけることで知識を深めながら歩けるようにする。	田町駅周辺の歴史散策とレインボーブリッジを渡り台場跡をめぐる。		
24	アンチエイジングさびない身体づくり	平成31年度	1 交流 地域	1 者高 齢	5	1 的 組 に み 取 優 先	高齢者を中心に運動面からアプローチし、美容と健康の意識を高め、運動不足解消のきっかけ作りをする。	運動習慣の無い人でも取り入れやすい「姿勢矯正」のポイントや、家庭でも出来るセルフマッサージ等を学び「見た目10才の若返り」と「3センチ手足が長・3センチ背が高く見える」を目指す。		

番号	事業名	開始年度	事業交流地域	主な対象者	従たる対象者	事業の性質	事業目的	事業内容・実施時期	実施回数	延べ参加人数
25	雑穀パワーでアンチエイジング	平成31年度	1	1	5	的1組にみ取り優先	高齢者を中心に食(栄養)からアプローチし美容と健康の意識を高める。	日本人のソウルフードである「雑穀」について、種類・栄養・効果・調理法を座学中心に学ぶ。また家庭で取り入れやすい一品を、参加者を変えながら作り試食タイムを作る。		
26	母の日フラワーアレンジメント	平成31年度	1	5	1	させらるるね	子育て世代ファミリーを中心に、幅広い世代間の交流を図る。	お母さん、奥さん、自分のための、感謝の気持ちをフラワーアレンジメントで表す。事務用はさみ・エプロン(各自)新聞紙・幼児用花器(ケアラ)持ち帰り用袋(講師・ケアラ)花・花器・オアシス(講師)。		
27	ロボットプログラミング	平成31年度	1	4		的1組にみ取り優先	家族参加メインの講座にして、数回の講座終了後、サークル化を目指す。	講師紹介、パソコンの使い方、プログラミング実践。感想。		
28	親子で防災アウトドア	平成31年度	1	7	3	的1組にみ取り優先	災害時に子どもと安心して過ごすために、アウトドアの知識や技術を体験することで、防災への意識や備えを養う。	限られた資源と環境の中で、災害時に役立つアウトドアを実施。ロープワーク、浄水器づくり、防災めし等。		
29	出張プレーパーク(あさひプレーパークみんなの基地がやってくる)	平成30年度	1	4	3	的1組にみ取り優先	目的:遊び方を身体を使って感じ、また、親子のスキップの取り方を遊びから学ぶ。交流の場の提供。	内容:段ボールや新聞紙を使って遊んだり、ねんど遊びなど手作り遊びを一日中遊ぶ。		
30	わくわくハロウィン	平成31年度	1	4	3	的1組にみ取り優先	地域の小学生にケアラサを周知してもらう。町内をパレードする事によって、地域の交通危険箇所を確認しながら、地域と交流する。	英語レッスン、仮装パレード、お菓子プレゼント。		
31	書初め教室	平成30年度	1	4		させらるるね	地域の子育て支援と、書初めを通して日本古来の伝統文化を継承すると同時に、幼児・小・中学生を持つ家庭にケアラサを周知するきっかけとする。	習字初めての幼児の書初め体験と、学校の書写授業をしている小・中学生の冬休みの課題に対応したアドバイスを行い、書道に親しみ、意欲的に取り組めるような内容とする。		
32	障害児サポート講座	平成31年度	1	2		的1組にみ取り優先	障害児の理解を深め、地域で支え繋がっていくための第1歩とし、同時に現在行っている余暇支援でのボランティアを増やすことを目的とする	白根地区社会福祉協議会会長よりはじめのあいさつ、1部「子供はみんな一緒、安心して過ごせるように:講師白根学園ぶどうの実 鈴木希氏」・2部「なかよし活動について:当事者家族 なかよしメンバー」		
33	こども開放デー	平成31年度	1	4	3	的1組にみ取り優先	小学生にもケアラサの存在を知って頂くことと、ケアラの講座等に参加された方に再度ケアラサに来ていただく場を提供する。	誰でも参加可能だが 多すぎたり、どの地域からの来所かを知る為に申込制とする。		
34	団体感謝会	平成31年度	5	5		的1組にみ取り優先	日頃のボランティア活動に感謝をし労う	10:00~12:00 1.開会 2.挨拶 3.活動の紹介 4.食事と懇談 5.催し物 6.閉会		
35	団体交流会	平成30年度	3	5		的1組にみ取り優先	ケアラサからの確認事項の案内と、登録団体との交流を図る。	団体Ⅱ 13:00~15:00 ・はじまりの挨拶(所長) ・施設利用方法についての説明 ・事業告知と交流会・司会佐藤 ・認知症サポーター養成講座		
36	ケアラ音楽祭	平成30年度	1	5		的1組にみ取り優先	ケアラサで活動している音楽系団体の発表の場とし、サークル間の交流をはかるとともにケアラサを周知するきっかけとする。	日頃の活動の成果を発表する機会とし、各サークルや多くのボランティアさんにも協力してもらい、皆で音楽祭を作り上げて成功させる体験を味わう。		
37	クリスマス交流サロン	平成33年度	1	2	5	的1組にみ取り優先	障がいのある当事者との交流を目的とし 地域での居場所としての役割を持つ	精神保健ボランティア講座受講者をケアラサエリア内の事業所と繋ぎ、地域に根差したボランティアとしての活動へ促進する。当事者も企画から参加し、双方の交流をはかりながら新たな居場所を作る。参加者全員での食事と交流会。		
38	ママ・パパ・子どものハッピーフェスタ	平成30年度	1	4	3	的1組にみ取り優先	自主事業「ここにサロン」を発展させ、サロンに協力していただいているボランティアさんや登録団体の協力にしたいと、フェスティバルを開催することにより、地域のつながりを広げていく。	クリスマスに関わるワークショップの開催イベントや販売コーナーをつくる。		
39	子育てママの就職準備応援講座(パソコン編)	平成31年度	1	7		的1組にみ取り優先	子育て中の母が社会から取り残された感などの不安解消へと繋げ、今は子育てに充実した時間が送れるように支援していく。また、再就職の際の働き方の参考になるようなことを伝えていきたい。	①マザーズハローワーク藤田講師講演(10:00~10:45) ②実践(9:45~10:00) ③質問タイム(時間調整しながら)		
40	白根地域ケアラサ文化祭	平成30年度	1	5		的1組にみ取り優先	昨年同様、ケアラサを利用する文化系団体に発表の場を提供し、サークルの垣根を超えて交流を図ると共に地域の方にケアラサとサークルの活動を周知するきっかけとし、サークルへの新規参加者、また新サークル発足へのきっかけとする。	文科系団体による展示発表、体験コーナー、物品販売。販売価格は物品、料理共に、材料費と同等価格に設定する。収支は各団体が管理し、後日販売物品確認表を提出してもらう。*詳細は各団体と個別に打ち合わせる。		
41	つるし雛まつり	平成30年度	1	5		させらるるね	当日、各部署の掃除項目、担当グループを明記、アナウンスし協力しながら作業いただく。	昨年度の自主業で作成した挿飾りと 利用団体さんが制作しているつるし雛ほか和風小物を展示する和菓子、さくら茶を有料(100円)で提供する。		

番号	事業名	開始年度	事業交流地域	主な対象者	従たる対象者	事業の性質	事業目的	事業内容・実施時期	実施回数	延べ参加人数
42	ながーい恵方巻き みんなでまいちやおう	平成30年度	1交流地域	4子ども	3	さ2せらるるねるる	自分の出来る事を活かして、地元地域を盛り上げたい。と目的を持って活動している子育てママさんの持ち込み企画で、共催として部屋貸しをする。ケアプラザを知らない初めてという層への、ケアプラザを知ってもらうきっかけとしたい。	①ケアプラザあいさつ②前田講師より恵方巻きの話し、作業の流れ、注意点等説明③恵方巻きづくり④試食		
43	ケアプラ大掃除	平成29年度	1交流地域	5地域		的1組にみ取優先	登録団体同士の交流およびボランティア活動の一環として実施	当日、各部屋の掃除項目、担当グループを明記、アナウンスし協力しながら作業いただく。		
44	夜メロ倶楽部交流会	平成31年度	1交流地域	2者障害	5	的1組にみ取優先	地域の作業所で当事者の方々との交流を持つ	白根夜メロ倶楽部の参加者と講師の福田先生と地域の作業所「ゆいまーる」で出向き、ゆいまーるで活動している当事者さんにはお仕事としてコーヒーを提供して頂き その後一緒に歌を歌い交流する		
45	白根うどんマイスターステップアップ	平成30年度	5(1と共催)	5地域	1	的1組にみ取優先	・ボランティア育成の一環とし、自立化に向け、うどんを打つだけでは無く、マイスターの繋がりが、コミュニティを行う。	①旭蕎麦商組合の講師「吉乃そば店」にランチ行く。②講師へ聞きたい事など、話をする時間を設ける。③白根うどんマイスターのレシピ(味の)決定をしていく。		
46	白根地区住民アンケート	平成31年度	1交流地域	5地域		的1組にみ取優先	地域で暮らす住民の皆様のご日常生活での困りごとやご意見を集めて、「誰もが安心して自分らしく健やかに暮らせる地域づくり」の取り組みに活用するため。	全て各町内会・自治会経由で行います。一世帯アンケート1セット(2枚)と回収封筒をセットで配布。回収も各町内会・自治会経由で行います。		
47	地域食堂	平成31年度	5(1と共催)	5地域	1・4	的1組にみ取優先	独居生活の方や一人でごはんを食べている子供たちの集いの場。多世代の交流を図る。	白根うどんマイスターを中心に地域のボランティアや学生で、手作りうどんの提供。		
48	シラネンピック2019	平成31年度	1交流地域	5地域		的1組にみ取優先	スポーツ系の利用団体の発表の場とし、サークルの垣根を越えて交流を図ると共に地域の方にケアプラザとサークルの活動を周知するきっかけとし、サークルへの新規参加者、また新サークル発足へのきっかけとする。	各団体の発表と、ホームカミングのトーナメント戦を行う。子どもの参加者を募り、「2020年応援ソングパブリカ」を皆で踊りフィナーレとする。		
49	消防訓練(水防訓練)	平成31年度	1交流地域	5地域	1	的1組にみ取優先	有事の際の利用者の安全確保と、職員の再確認。他のテナントさんとの共有確認。	水防訓練。屋上に保育園のこどもたちと避難訓練。利用団体の参加も募る。備蓄品の確認と試食。		
50	カラーコーデで美アップ!	平成31年度	1交流地域	1者高齢	5	的1組にみ取優先	カラーコーディネートの基本を学び賢くアンチエイジング。パーソナルカラーを知り、ビントを合わせて心と身体の元気アップに繋げる。他者との交流、会話の中で楽しいひと時を共有する。	6/2 パーソナルカラー診断・7/7 色見本帳(チップ作り)・8/4 スカーフを使って色ワーク 9/1 配色ルールを知らず・10/6 お似合いのメイクカラーを体験。		
51	もぐもぐ離乳食	平成31年度	1交流地域	3児乳幼	7	的1組にみ取優先	地域からの要望。子育て支援の一環として、離乳食、幼児食の講座と試食を行う。	保育園の栄養士を講師に、離乳食の調理のポイントのアドバイス、突演と試食。参加者からの質疑応答。		
52	あさひの家さんとジャムづくり	平成31年度	1交流地域	2者障害		的1組にみ取優先	地域にある活動ホームあさひさんと、月1回バンづくり活動をしている支援級に通う子どもたちとの交流でジャムづくり。	ジャムづくり体験と月1回のバンづくりに活動ホームあさひさんを招待し手作りジャムとパンの試食会。		
53	のぞみさんのお菓子づくり	平成31年度	1交流地域	2者障害	4	的1組にみ取優先	障害施設で就労をしている人たちと子供たちとの交流と、のぞみさんの活動を周知。	当事者を講師に、お菓子作りを体験。夏休みの短期事業7/22(月)13:00~		
54	登録団体認知症サポート養成講座	平成31年度	4(1と共催)	5地域	1	的1組にみ取優先	利用者・利用団体への認知症サポート養成講座を開催し、認知症への理解を深め、誰もが自分らしく、ともに活動ができる場として、地域貢献活動へとつなげる。	司会、守劇を行うなど担当を振り分け行う。		
55	白根地区支え合い連絡会	平成31年度	1交流地域	5地域		的1組にみ取優先	地域の福祉保健活動の現状を把握するために新年度新たに地域支えあい連絡会を設置し、地域の各団体、福祉施設等との情報・意見交換の場を設ける必要があります。また連絡会は、白根地域ケアプラザを核とした白根地区各団体、福祉施設とのネットワークを構築することにより、身近な福祉活動の連携と情報の共有化を図ることが出来ます。	6月・9月・11月・2月 *年4回予定、臨時開催可(全木曜日)		